

平成 22 年 9 月 29 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

HVJ-E 基本特許が成立(米国)
－外来遺伝子導入方法が対象－

当社は、米国において HVJ-E(センダイウイルス・エンベロープ)ベクターによる外来遺伝子導入方法をカバーする基本特許が成立し、昨日(2010/09/28)、特許公報(US7,803,621)が発行されましたことをお知らせします。

遺伝子治療やライフサイエンスの基礎研究にあたっては、遺伝子の細胞内への導入効率を高めるため、何らかのベクターの利用が必要となります。

従来は、アデノウイルスなどのウイルスベクターやリポソームなどが用いられてきましたが、病原性の懸念や毒性などの問題も多く、医療や研究の進展上、障害となっております。

本発明は、センダイウイルスが有する優れた膜融合能に着目し、センダイウイルスを不活性化しエンベロープを利用することにより、病原性や毒性などの問題を解消した画期的なベクター技術です。

当社および子会社のジェノメディア株式会社は共同して本発明の開発を進めており、本基本特許を始め、各種用途特許・製法特許を出願してまいりました。

とりわけ本基本特許は、HVJ-E プロジェクトの根幹をなすものであり、市場が最も大きな米国において登録となりました。

当社は、HVJ-E プロジェクトの国際開発にあたり、米国以外にも、日本、欧州、カナダ、豪州、中国、韓国、台湾などにおいても特許登録しており、特許網を確立しております。

なお本発明は石原産業株式会社と提携し、既に高効率トランスフェクションキット「GenomONE®」として日米で製品化されており、ライフサイエンス研究において広く利用されております。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上